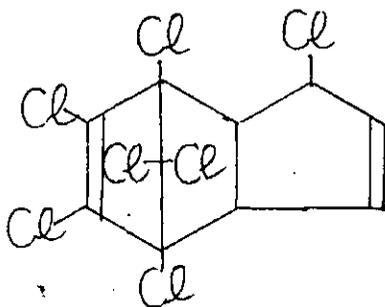


分解度試験報告書

1 試料名 ヘブタクロル
 (試料番号K-640)
分子式 $C_{10}H_2Cl_7$ 分子重量 373.3
構造式



同定 赤外分光光度計 (図-5 参照)
性 状
外 観 黄白色の結晶
融 点 91 ~ 92 °C
純 度 98% 以上 (██████████ 用試薬使用)
溶解性
 対 水 1.3 ppm 以下 (G Oによる)
 対 クロロホルム, メタノール, ヘキサン
 ジクロルメタン, テトラヒドロフラン 10000 ppm 以上

2 試験期間 昭和56年9月24日 ~ 昭和56年11月4日

3. 試験方法及び条件

環 保 業 第 5 号
業 発 第 615号
49 基 局 第 392号

} 微生物等による化学物質の分解度試験による

3.1 試験条件

(a) 生分解試験条件

- (1) 微生物源：標準活性汚泥 30ppm
- (2) 供試物質濃度：100ppm
- (3) 試験期間：28日間

(b) 試験装置

閉鎖系酸素消費量測定装置 標準型

(c) 試料の採取

供試物質は固体のため天秤で30.0mg精秤し各培養ビンに添加した

(d) BOD測定装置へのセット状況

	状 況	pH
仕 込 時	—	—
終 了 時	水系 汚泥系とも試料の残存が認められた	—

3.2 直接定量分析

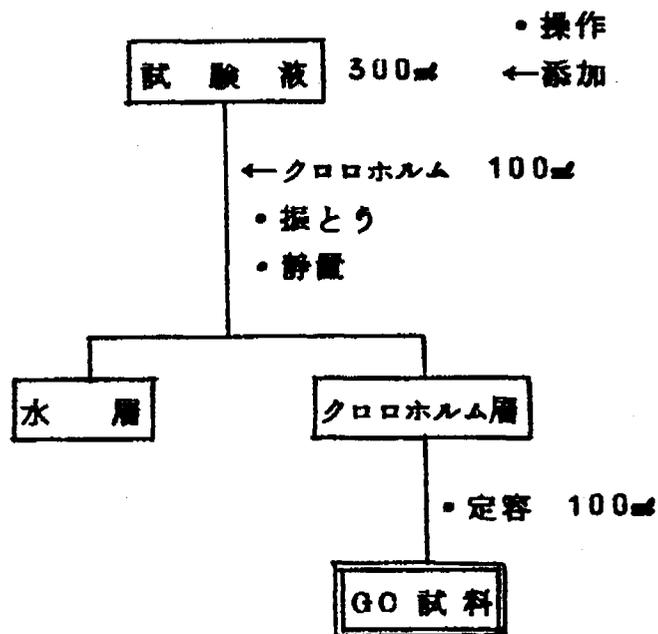
(a) 使用分析機器及び条件

ガスクロマトグラフ

型 式 日 立 163

検出器	FID
カラム	3mmφ × 1m ガラス
固定相	
液相	5% PBG-HT
担体	クロモソルプW
カラム温度	200℃
キャリアガス	N ₂

(b) 分析試料の前処理



4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	
GO による結果	4	2	1

7日目のアニリンの分解度 63%

以 上